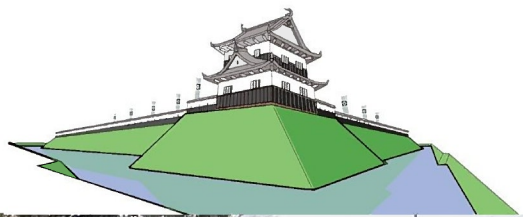


● 黒野城と 加藤貞泰公研究会



堀に水を湛えた黒野城本丸 北西隅より

会報

甦る! 黒野城

2021.06 vol. 9

普段は空堀の黒野城・本丸堀は、毎年、梅雨や秋雨の時期になると雨水が集まって満々と水を湛えます。満開の桜や白銀の雪に覆われた城とは違い、1年に数回しか見ることのできない水を湛えた黒野城の姿は、かつてこの地を治めていた加藤貞泰公とその家臣団で栄えていた古（いにしえ）の時代を彷彿させます。



黒野城主加藤貞泰が、西軍の犬山城に加勢していた加勢衆を先導して東軍に味方した際に交わした家康との書状5通および解説文、関ヶ原合戦布陣図などを収集した史料

写真左
加藤貞泰公「関ヶ原合戦の史料研究」
A4版135ページ
発行

郷土・岐阜(黒野)の偉人 郷純造・誠之助親子

本年放送中のNHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公である渋沢栄一は、2024年から新一万円札にも登場することが決定しています。埼玉県深谷市の農商家出身で後に徳川慶喜に幕臣として仕えた渋沢栄一は、第一国立銀行（後のみずほ銀行）をはじめとする数多くの業種の会社を設立し、その多くが成功を収め今日の日本経済を支える大企業へと発展しています。その渋沢栄一がバリ万博から帰国し静岡に下野していた頃、大蔵卿であった大隈重信が省内に若い有能な人物をと求めていた際に、旧幕臣の渋沢栄一と前島密を推薦したのが、当時大蔵少丞であった郷純造でした。



日本ビジネス電子版より



郷 純造 文政8年(1825)～明治43年(1910)

黒野村の農家の六代目郷清三郎の三男として生まれた郷純造は幼少より読み書き算術に秀で、剣術は下鶴飼の大野理忠太に、漢学は御望の郷余齋に学びました。弘化元年(1844年)江戸に出て大垣藩用人に武家奉公し、長崎奉行牧義制の納戸役として嘉永4年(1851年)のオランダ使節来訪問題に対応しジョン万次郎の取り調べを行います。その後、大坂町奉行鳥居忠善に見込まれ同家の家老に抜擢されます。そして鳥羽・伏見の戦い直前に御家人の株を買って幕臣となり、程なく撤兵隊に属する差図役(士官)に登用され、江戸城無血開城に寄与します。

明治維新後は新政府に入り大蔵官僚として活躍する中、渋沢栄一や前島密らを大隈重信に推薦しました。その後も大蔵官僚として活躍し初代大蔵次官を退官してから貴族院議員に就任、男爵・正二位・勲一等瑞宝章を受けました。



郷 誠之助 慶応元年(1865)～昭和17年(1942)

郷純造の二男として生まれた郷誠之助は、一旦は大坂町奉行所の父の元に届けられるも東京麴町に住み、番町小学校に通います。明治10年(1877年)から12年(79年)まで県立仙台中学(1886年廃止)にて学び、明治16年(1883年)東京帝国大学(東京大学)法学選科入学。明治17年(1884年2月)ドイツに留学し、ハイデルベルク大学で8年間に渡ってヘーゲル、ジョン・スチュアート・ミルなどを研究し、経済学博士号を授与されます。明治24年(1891年)12月に帰国し、農商務省に嘱託で勤務します。

その後は財界に一貫して身を置き、日本運送、日本メリヤス、日本鋼管、入山採炭、王子製紙の社長や取締役を歴任して各会社の再建を成功させ、明治44年(1911年)貴族院議員になり終生務めます。渋沢栄一が死の直前、「自分の亡き後は郷(誠之助)君に頼む」と遺言を伝えており、渋沢栄一は郷誠之助の手腕を高く評価していました。

郷純造・誠之助親子の生誕地である郷和彦氏宅に、両氏の功績を称える生誕地標柱および案内板を設置し、4月4日に除幕式が行われました。

明治維新～昭和初期に日本の経済界に大きな足跡を残した両氏を顕彰し、黒野のご当地に生誕地標柱と案内板を設置することで、彼らの多大な功績を広く世間に知っていただくとともに、郷土の活性化のきっかけになればとの願いを込めて設置されました。



案内板除幕式の参加者



当主 郷和彦氏



案内板の除幕式



(岐阜市黒野384番地)郷和彦氏宅に設置の案内板

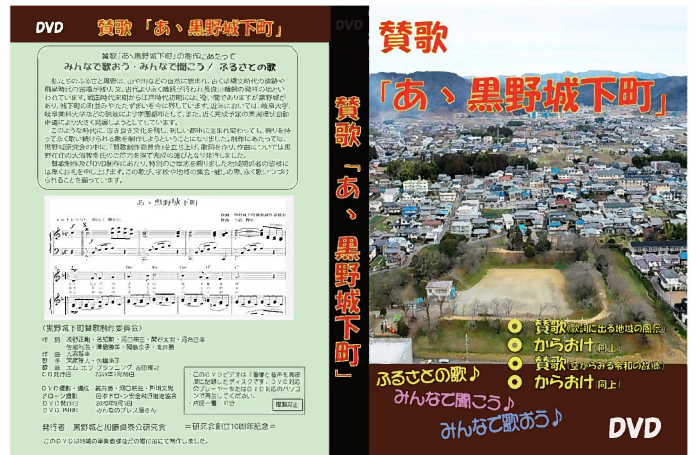
DVD 賛歌「あゝ黒野城下町」 発行

研究会創立10周年を記念して、郷土愛の醸成と郷土の風景を改めて知っていただくため、賛歌『あゝ黒野城下町』のDVDを制作・発行しました。

2019年1月に、賛歌CD盤を500枚制作しましたが、今回は歌詞に登場する黒野地域の四季の風景等の画像を用いたDVD制作部会を昨年度に立ち上げ、撮影・編集を経て1000枚制作。郷土の学校、施設、図書館、自治会、岐阜市、地域の各種団体などに配布し、またご希望の方には、回覧板等で募集し無料配布を企画しました。

DVDの映像は、黒野地域の四季の風景と空から見る令和の眺望（ドローン撮影含む）を収めたもので、唄入り版とカラオケ版が収録されています。（ケース入り・歌詞付）

「あゝ黒野城下町」DVDジャケット



環境保全「黒野城跡をトウカイタンポポで埋め尽くす作戦」



左：トウカイタンポポ
右：北側土塁内側のラインテープによる区割り・移植作業

西日本のタンポポ分布調査によれば、多品種のタンポポの中でトウカイタンポポの遺伝子が、岐阜→鳥取県米子→愛媛県大洲城に分布していることが判っています。今から約400年前、黒野城主加藤貞泰の国替えでタンポポが広がっていった可能性も考えられます。その発祥地、黒野城跡の土塁内面にトウカイタンポポを咲かせる環境保全活動がスタートしました。初の試みで、岐阜市公園課に許可を頂きました。

2月16日、尻毛の河川敷のトウカイタンポポを4名のスタッフが株を掘り、6名が北側土塁内側にラインテープを張り、枠内に約90株を移植。その後順次地域のトウカイタンポポを移植したり種まきを実施しました。



研究会の活動報告(2020.04~2021.03)



岐阜県図書館「古地図にみる関ヶ原の戦い」を見学



メディアコスモス「NPO活動パネル展」に出席



安八町で河川と黒野領主の関わりを講演



DVDの配布状況



岐阜大学にて「黒野城のまちづくり」講師



関ヶ原古戦場記念館 小和田哲男館長に加藤貞泰PR活動

研究会の活動報告 (続き)



揖斐「ふるさと歴史講座」一行来訪



黒野城跡・入口に駐車場(公園課整備)



黒野城搦手側土塁・外堀の草刈り

令和二年度の主な研究会活動 (R02.04~R03.03)

研 究	定例	研究会	
	登録	市民活動団体登録&公民館利用団体登録の申請	
	調査研究	調査・研究活動(古文書・歴史文化全般) 「加藤貞泰の関ヶ原合戦」書籍改訂第2版発刊	
	新規事業	研究会 発足10周年記念の企画部会	
黒野の方言調査			
紙芝居「尉殿塚」制作			
地 域 お こ し ・ ま ち づ く り	交流	外部団体との交流 関ヶ原古戦場記念館見学/小和田館長面会	
	案内	11/21予定の下見案内 村瀬二郎氏・関谷氏	委託
		「ふるさと歴史講座」揖斐他の皆さん	委託
	講演	木曾三川フォーラム講演 1600年頃安八は加藤貞泰領地	委託
		岐阜大学地域科学部授業「黒野城のまちづくり」	委託
	展 示	城跡分館「黒野城情報板」保守・掲示管理	
		西部コミュニティセンターロビー展示	
		メディアコスモス NPO活動パネル展	
	普及	賛歌「あゝ黒野城下町」 DVD制作・発行	
	環 境	事績案内板	既設案内板の維持管理
郷純造・誠之助生誕地に標柱と案内板設置			
美化活動		清掃活動 ゴミ拾い・草刈	
		搦め手側土塁跡草刈・除草剤	
黒野城跡ブラッシュアップ作戦			
トウカイタンポポ移植			
広 報	会報「甦る黒野城第8号」編集・発行		
	ホームページの編集・維持管理(フェイスブック)		
	郷純造・誠之助紹介チラシ発行		
	黒野城パンフ・リーフレットの継続配布		
そ の 他	新規若手会員募集		
	スマートホン活用で研究会グループ立ち上げ		
	活動資金の確保(寄附金活動)		
	支援活動基金申請(JAぎふ地域活動支援基金応募)		

令和2年度 ご寄付頂いた事業者など(敬称略・順不同)

新日本ガス株式会社 / 黒野病院 / 福富医院 / 友とぴあ / ヨツハシ株式会社 / 平野病院
西本整形外科リハビリクリニック / みながわ内科循環器科クリニック / 丸幸製菓株式会社
久世工業株式会社 / 株式会社 杉山興業 / 株式会社 むつみ / 岐阜電話施設株式会社
日本いぶし瓦株式会社 / 杉浦紙工株式会社 / 西村歯科医院 / 戸川新聞店 / 立山クリニック
株式会社平成調剤薬局 / 野々村医院 / 黒野金融懇話会 (5社)

会報 『甦る！黒野城』 Vol.9

発 行 者 : 黒野城と加藤貞泰公研究会
 発 行 年 月 : 令和3年6月(2021)
 編 集 者 : 篠田哲郎・河口耕三・戸川文男・信田朝次
 問合せ・連絡先 : ホームページ facebook.com/kuronojyo TEL 090-1786-6564 河口耕三